

和歌山病院での研修を終えて



田島 幸治

私は H28 年の 6 月の一か月間のみでしたが、和歌山病院の呼吸器内科にてお世話になりました。研修先でここを選択させて頂いた理由としては、県内唯一の結核病棟があり結核の勉強ができること、院長先生をはじめ諸先生方が教育熱心だと伺ったこと等があります。

まず結核の勉強については、診断はついてから紹介されてくるので、検査・治療を入院担当させて頂いて経験できました。実際に抗酸菌染色で結核を見るのも初めてでしたが、なかなか喀痰から結核がいなくならないのを身をもって知りました。副作用が多く薬剤選択・継続に難渋することもありましたが、良い経験ができました。

地域ならではですが本当に色々と手技もさせて頂きました。初日の CV 挿入に始まり、胸腔穿刺・胸腔ドレーン留置(胸水・気胸どちらも)・気管支鏡の操作・経鼻の上部消化管内視鏡検査・果ては手術中の麻酔までやらせて頂きました。これからの自信に繋がると思います。また、南方先生による南方塾もとても勉強になりました。胸部単純写真の読み方・解釈の仕方を教えて頂き、今後胸部単純写真を読む際は気を付けようと思えることばかりでした。大学では外来もできないので、和歌山病院でさせて頂いた初診外来や退院後のフォローも良い経験になりました。

多くの貴重な経験をさせて頂き、和歌山病院で研修させて頂いて本当によかったと思っています。1 か月間という短い期間でしたが、我々に優しさを持って接してくれた先生、看護師・事務員等コメディカルのみなさん、本当にありがとうございました。